

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成20年7月

施設名	高知県立坂本龍馬記念館	所管課室	文化・国際課
-----	-------------	------	--------

## 1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
施設所在地	高知市浦戸城山		
事業内容	坂本龍馬を顕彰する施設として、坂本龍馬に関する資料の収集、保管、及び展示を行う。		
施設内容	<p>面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>&lt;建物&gt;延べ床面積:1,841.62㎡ SRC造 一部鉄骨地上2階地下2階</p> <p>&lt;主要施設&gt;常設展示室、企画展示室、図書・ビデオコーナー、ミュージアムショップ、談話室など</p> <p>&lt;開館時間&gt;午前9時～午後5時</p> <p>&lt;休館日&gt;12月27日～1月1日</p> <p>&lt;主な料金&gt;入館料 大人(18才以上)400円 高校生以下、高知県長寿手帳所持者(65歳以上)は無料 企画展開催時は別料金</p>		
職員体制	特別職非常勤: 1人 常勤職員: 4人 契約職員: 7人 合計: 12人		

## 2 収支の状況

単位:千円

		平成18年度(決算)	平成19年度(決算)	平成20年度(予算)
収入	県支出金	54,288	53,709	52,710
	事業収入	55,495	48,408	48,830
	その他	484	232	
	収入計	110,267	102,349	101,540
支出	事業費	17,672	18,859	22,971
	管理運営費	74,694	79,302	73,950
	(うち人件費)	(40,782)	(41,904)	(42,993)
	その他	6,673	3,684	4,619
	支出計	99,039	101,845	101,540

## 3 利用状況

	平成18年度実績	平成19年度実績	前年度比
年間利用者数(単位:人)	139,533人	123,174人	-16,359人
	<p>&lt;利用実績&gt;18年度は24万石博効果や坂本直行展開催で入館者を大幅に伸ばしたが、19年度はその反動で大幅減が懸念されていた。しかし、広報広告に力を入れ県内外の入館者増に取り組み、歴史民俗資料館・中岡慎太郎館と初の合同企画「龍馬・慎太郎展」や幡多地域にスポットを当てた「樋口真吉展」など新しい視点での展覧会開催したことにより、18年度には及ばないものの平成17年度の実績(119,581人)を超える12万人台の利用があった(対前年比11.7%減)。</p>		

利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・入館者に対してアンケート協力を求め、それらを毎日チェックし、寄せられた意見に対し「すばやく対応」することを心がけ、参考意見は企画展や展示方法の改善に積極的に取り入れている。
	その他 ・来館者の視点に立った館内表示や広報などに努めている。 ・有識者による運営協議会を年2回開催し、その意見を館の運営に反映させている。
その他特記事項	・個人・団体を問わず解説を随時開催(161件、述べ3,764人利用)。 ・3館合同企画「龍馬・慎太郎」展使用の近江屋セットを移設し、月1回対談を実施。 ・龍馬や企画展に関連した講座を随時開催。 ・史跡巡りバスツアーや徒歩による歴史探訪を実施。

#### 4 平成18年度業務評価

項目	状況説明
管理運営に関する評価	施設設備の管理、危機管理体制、法令遵守等適正な管理がされている。 ・見やすい展示、資料保護の観点からの湿度や塩分の影響を軽減するために行政の支援を望む。 ・施設の老朽化など手がかかる条件の中で良く管理が行えている。 ・立地条件等の問題があるが、危機管理対策を一層進めてもらいたい。 ・受付の対応に好感を感じた。職員研修等が行き届いており、館の利用者に対するもてなしの心が見て取れる。
事業の実施(企画及び運営)に関する評価	資料の管理や展示・企画事業、調査研究、教育普及の各事業において、適正に事業が実施された。 ・高齢者や小中学生向けの様々な取組を評価する。 ・施設の限界はあるが、見る者を揺さぶる仕掛け等展示で見せる一層の工夫を望む。 ・展示資料の子ども向けの解説は大人も理解しやすく評価できる。また、3館合同展で使用した近江屋のセットの利活用は良い取組である。 ・参加、体験型の学習や企画が増加している。今後も教育機関との連携に期待する。 ・高齢者や子どもに焦点を当てた事業、地域と連携した事業の一層の推進を望む。 ・龍馬検定をツールとして交流事業等への発展を望む。 ・歴史資料の収集保存等が順調に進んでいる。今後は、保存環境の向上にも努めてほしい。
総体的な評価	・年間の利用者数を減少させない努力を絶えず行っており、PR活動や付加価値を高める工夫など集客に努め、管理運営全般に良い取組を行っている。
総合評価	A ・効率的な運営及びサービスの向上が認められる。 ・地元の浦戸地区等と連携した取り組みをはじめとして継続性のある活発な事業展開により、坂本龍馬記念館が地域活性化の拠点としての役割を担うことを期待している。今後は、桂浜全体の活性化のために地域との連携(市と県との連携も含め)を密にするなど、一層の努力を望む。 ・館長の坂本龍馬と記念館に対する思いが職員に浸透し、館全体の良い雰囲気を作り出している。 ・龍馬の功績を次世代に伝えてゆくという重い責任を担っているのもで頑張ってもらいたい。 ・少ない人員の中で工夫しながら良く運営している。 ・公共交通機関のアクセスが悪く桂浜(坂本龍馬記念館)へ行きづらい。誰もが分かり易いルートやダイアの設定ができないか。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

# 評価項目ごとの評価内容

## 県立文化施設指定管理者事業評価シート(平成19年度事業)

施設名	高知県立坂本龍馬記念館			
評価項目	評価	特記事項		
1 管理運営の基本方針（総括）	A	・年間の利用者数を減少させない努力を絶えず行っており、PR活動や付加価値を高める工夫など集客に努めている。		
平成19年度の坂本龍馬記念館の管理運営（事業）にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。 平成18年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。				
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	A	・高齢者や小中学生向けの様々な取組を評価する。		
(1) 展覧会事業の実施	A	・施設の限界はあるが、見る者を揺さぶる仕掛け等展示で見せる一層の工夫を望む。 ・展示資料の子ども向けの解説は大人も理解しやすく評価できる。また、3館合同展で使用した近江屋のセットの利活用は良い取組である。		
通常展及び企画展の実施回数、内容、集客目標と観覧者数等の状況				
理解促進の取組の状況 展覧会事業についての特記事項				
(2) 教育普及事業その他の事業	A	・参加、体験型の学習や企画が増加している。今後も教育機関との連携に期待する。		
事業の内容、件数、参加人数の状況 教育普及事業その他の事業についての特記事項				
(3) 事業を通じた創造活動・文化振興の支援	A	・高齢者や子どもに焦点を当てた事業、地域と連携した事業の一層の推進を望む。 ・地域の祭りとの連携や地域の活性化を視野に入れた活動を今後一層期待する。		
子どもが坂本龍馬や歴史に親しみ感性を育む取組 高齢者や障がい者が利用しやすい取組 地域の文化活動との連携・支援				
(4) 観光振興の観点				
(館の運営を通じた観光の振興の取組、その効果など)	A	・龍馬の銅像の周辺に龍馬記念館の案内看板（要景観考慮）を設置できないか検討をしてほしい。 ・龍馬検定をツールとして交流事業等への発展を望む。		
(5) 県民の視点にたった運営	A	・高知県立歴史民俗資料館と北川村立中岡慎太郎館との3館合同企画展の開催や幡多地域の協力による「樋口真吉展」など、連携事業として意義深い。今後も文化施設や地域とのネットワークを活用した事業を進めて欲しい。		
坂本龍馬記念館の活動や歴史についての情報提供 利用者、県民へのレファレンスの状況 県民参加の活動 県内の文化施設との連携				
(1) 資料の収集及び保存管理			A	・歴史資料の収集保存等が順調に進んでいる。今後は、保存環境の向上にも努めてほしい。
資料収集の状況 資料の修復 保存環境の維持				
(2) 資料の効果的な活用				
所蔵資料の活用の状況 調査研究と成果の公表	A			
4 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	A	・効率的な運営及びサービスの向上が認められる。		
(1) 経営努力	A			
収入増加の取組 経費縮減の取組				

(2) サービス向上への取組		A	・受付の対応に好感を感じた。職員研修等が行き届いており、館の利用者に対するもてなしの心が見て取れる。
自己点検・評価の状況			
事故、クレームへの対応			
職員の専門性の向上 その他のサービス改善事項			
(3) 社会的責務		A	
県内の文化施設を牽引する取組 法令・規程等の遵守			
<b>5 施設及び設備の管理は適正に行えたか</b>		<b>B</b>	・見やすい展示、資料保護の観点からの湿度や塩分の影響を軽減するために行政の支援を望む。
(1) 建物や設備の管理状況		A	・施設の老朽化など手がかかる条件の中で良く管理が行えている。
点検・修繕の実績 第三者への業務委託の状況			
(2) 危機管理		B	・立地条件等の問題があるが、危機管理対策を一層進めてもらいたい。
(風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)			
<b>総合評価</b>		<b>〔評価委員の意見〕</b>	
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の浦戸地区等と連携した取り組みをはじめとして継続性のある活発な事業展開により、坂本龍馬記念館が地域活性化の拠点としての役割を担うことを期待している。今後は、桂浜全体の活性化のために地域との連携（市と県との連携も含め）を密にするなど、一層の努力を望む。</li> <li>・館長の坂本龍馬と記念館に対する思いが職員に浸透し、館全体の良い雰囲気を作り出している。</li> <li>・龍馬の功績を次世代に伝えてゆくという重い責任を担っているので頑張ってもらいたい。</li> <li>・少ない人員の中で工夫しながら良く運営している。</li> <li>・公共交通機関のアクセスが悪く桂浜(坂本龍馬記念館)へ行きづらい。誰もが分かりやすいルートやダイヤ設定ができないか。</li> </ul>		

評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する